

令和元年度

第1回 南伊豆町総合教育会議議事録

日 時 令和元年5月29日(水) 9時から10時25分

場 所 南伊豆町役場 3階 会議室

出席者 町 長 岡部克仁
教 育 長 佐野 薫
委員長職務代理者 下村和雄
委 員 白井善吾
委 員 萩原利恵子
※井上誠也委員は欠席

説明出席者 事務局 長 大野孝行
学校教育係長 萩原拓三
社会教育係長 桑原信孝

傍聴者 なし

1 開 会

大野事務局長 開会宣言

岡部町長 挨拶

大野事務局長 議長は町長が務める旨述べ、進行を議長に依頼する。

2 議 事

岡部議長 議事録署名人について、教育長及び議長が務めることを述べ、議事に入る。
議事(1) 中学校の統合について事務局の説明を求める。

大野事務局長 本日は、おそらく今後、数年にわたる教育委員会の重要案件の一つとなるであろう中学校の統合について、昨年度実施したアンケート結果を踏まえ、委員に意見をいただきたいと思っている。

参考までに、配付資料には過去1年間の賀茂地域の市町の学校統合に関する新聞記事も添付してある。

資料に基づき説明

- ・町内中学校生徒数の推移（2031年 2校でも生徒数100人割れ）
- ・町内小学校児童数の推移（2022年 中小、東小 児童数の逆転）
- ・賀茂地区乳幼児・児童・生徒数（全体的減少傾向）
- ・アンケート結果（統合には賛成傾向。どちらの中学に統合かは自校への統合の意見が大半。）
- ・新聞記事（他市町の統合の動きが活発）
- ・町内での統合の先には、他市町の学校へ通う可能性、AI活用の授業実施等の可能性。

以上。

岡部議長

フリートークで意見等あればお願いしたい。

統合時期の対象者へのアンケートが良かったと感じている。

また、どちらの中学校を使うかというのは、行政の立場から言うと残った学校（廃校した学校）をどのようにして使うかというのも大きな課題となる。グラウンドまで大型の車も上がるし、交通の便が良いのは南伊豆東中である。南伊豆中は細い道を上まで上がっていくことになる。

30年度に生まれた子供が町内で33名なので劇的に減るということなので、統合は何年か後には考えなければならない。

皆さんの発言をお願いします。まず、教育長に教育的見地からの意見を伺う。

佐野教育長

（学校統合は）授業がやりにくくなった時が時期と思う。では、何人いれば授業ができて、何人で授業が厳しくなるのかということ、たとえば体育でイメージすると体育を一桁の人数でやったらどうなるか、その中には男も女も含まれている。そうすると1学年では体育の授業ができない。それでも残そうとすると2学年で体育を実施する工夫をすればできなくもない。その際は発達段階的にどうなのかとか、何の種目をという工夫が必要。しかしそれは結構無理がある。どうしても二桁の人数は欲しい。そう考えたときに2022年には南伊豆東中1年生が13人になる。（全校生徒数が）2023年が直近では一番少ない53人となる。この13人をがんばれるということになれば、ここが限度ということ

ころは2030年。南伊豆東中が（全校生徒数）38人となる。1年9人、2年12人、3年17人では相当厳しい人数となる。そう考えていくと50人台というのは何とかやっていけるのではないか。現状の賀茂中学、稲梓中学と変わらない人数である。そういうことで（統合は）いつか？というタイミングは図りかねるところがある。ただ、2026年には南伊豆中も100人を割る。計画としてはこのあたりを目途に計画していくのが順当と思う。遅れてもその2年後、2028年というところか。

アンケートでは部活動のことが多くでてくるが、部活動については活発にやっている両校であるので大事にしたいが、統合して部活動の数を増やせるかということそこまでは行かない。保護者の中には統合すると人数が増えて部活動の数も増えて選択肢も増えると考えていると思うがそれほど増やせない。南伊豆東中の生徒に卓球の選択肢が増えるくらい。

大野事務局長 部活動の話は資料の10ページに下田市の例ではあるが載っている。

佐野教育長 生徒数が増えるのは統合した当初のみでありその後は減少傾向が続いていく。

岡部議長 スポーツ少年団にしても、以前はサッカーも多くの子供たちがいた。野球も町内には2チームあったが、今では1チームを存続させるのも難しい。学校体育でも少人数で可能な種目を選択していくことになっていくであろう。

人数が13人になるが、その男女比によっても対応が違ってくる。

白井委員 アンケートは現在の中学生等にとっているわけで、概ねいつごろに統合という目安を町民に周知したほうが良いのではないか。

佐野教育長 近隣の市町が具体的な時期を示してきているなかで、当町もアンケートを実施したので当町も準備しているかのように取られた感もあるが、あくまでも意向調査であり諸条件等を示した上でのアンケートではなかった。今後はもっとはっきりした計画を示したうえで、それにどれだけの賛同が得られるかということになる。

岡部議長 2028年には生徒数が南伊豆中で68人、南伊豆東中で61人、合計129人となる。このあたりがボーダーラインかなというところであり、仮に2028年に1校に統合するということを今発表しておけば該当者は理解してくれていると思うし、一番の関心事は学校が決まったときの通学方法であり、それを考慮し報告できないとうまくいかないと思う。

今は、〇〇年を目標に統合を検討しているくらいの方が、地域の人たちも理解してくれるのではないかと。

臼井委員 できるものなら、早めにこのような場で案を練って、PTA の場等でお知らせしてはどうか。

岡部議長 このような場（総合教育会議）の内容が新聞等で報道されるときでもいいと思う。

最初はアバウトでもいいと思う。2028年度を目途に中学統合の検討を始めたということで報道されれば9年後やるということが理解できる。今年度中くらいで時期が公表できればいい。

2028年度というと今、小学生になっていない子供たちが対象となる。こども園の年長組が中学3年生の時が2028年度。

佐野教育長 今回のアンケートは現状を見ての感覚で回答しているものである。

下村委員 再度アンケートを取るよりも、統合自体（部活動、制服等ではなく）については統合する大義（教育内容、適正規模の見識等）これだから統合するんだというものを決めて、それを示して進めて行った方がよいのではないかと。統合時期の問題も早めに決めてそれに向けて審議会等を設けスケジュールを細かく決めてもいいのではないかと。

残されるのは位置の問題。

臼井委員 アンケートを取らないと役場が主導して最後まで行ってしまったということにもなりかねない。

岡部議長 統合に向けて審議会を設置し（時期、場所、通学方法等の）細かい内容が決まったら、統合はさせていただく。アンケートについては統合の是非ではなく決定事項に関する要望等を踏まえたものがないと思う。

下村委員 流れとして、下田が2022年度から、西伊豆の中学校が第1段階が2021年度、新しくできるのが2024年度、賀茂地区としてこのあたりが学校統合でにぎやかな時期。当町の中学校統合が2027、2028年度ということになれば近隣市町の統合の結果がどうであったかもわかる。審議会を立ち上げるにしても2023～2024年あたりがいいのではないかと。今すぐ審議会作ってということでもない。

大野事務局長 審議会で審議するにしても、事務局サイドで原案（たたき台）を作

成しておかないとなかなか意見も出てこない。

下村委員

今でも少人数の中でそれなりの教育ができていないか、という意見もでてくるであろう。そうなったときに、例えば子供たちの安全のためにこうしたい等の理由付けも欲しい。そういう意味で統合の大義は積み上げたものを示していかないといけない。

岡部議長

保護者としては反対はないと思う。こども園も一園化していくなかで、今はこども園で一緒にいても小学校で別れるケースがある。しかし、子供たちも保護者もスポーツクラブ等様々な部分で繋がりもあるので昔のように対立するようなことはないと思う。2中学が一つになることに抵抗はないと思う。こども園の頃は同じ園であったのだから。

臼井委員

保護者よりもOBとか地域の人等が地域から学校がなくなる等の理由で反対することが多いのではないか。

佐野教育長

南上小の統合審議の際もこども園でママ友ができたのに、小学校で別れてしまうのが残念だという意見もあった。

佐野教育長

アンケートの中にはビジョンについての記載もあったが、確かに総合教育計画的なものを示さないといけない。中学だけの統合ではなく小学校、こども園等の計画も出していかないといけない。

岡部議長

小学校統合の頃になると国の施策も変わるであろうし、施設も老朽化する。新しい校舎を建設ということになるかもしれない。

臼井委員

この問題は全国的な問題である。

岡部議長

下田に通うようなことにもなるかもしれない。
萩原委員何かご意見は。

萩原委員

アンケート結果見てみたが、今の保護者は自身とは関係ないというところで意見の出し方が違うと感じた。保護者は通学距離が延びることが一番気になる点ではないか。そこをスクールバス等の対応ができればそれほど反対も出ないと思う。

部活に関する意見が多くあり、学習についての意見が少ないように感じた。

岡部議長

今回のアンケートは町が統合検討に向けて動き出したということ

示せたということが大きかったと思う。

萩原委員 もう人数も少ないので、皆さんいずれは統合するのであるとは思っているのではないか。それをどのように進めて行くか、町の態勢を説明すればそんなに反対はないと思う。それを望んでいる人もいると思う。

大野事務局長 アンケートの自由記載の中に、「このアンケートは保護者にとっても心構えとなる。」という記載もあった。正に心構えとはなったのではないか。

萩原委員 説明会に参加すると回答した人は少なかった。現実味がないからであろうか。

岡部議長 他に意見はないか。

 << 特になし >>

岡部議長 事務局においては本日の意見を参考に、統合についての更なる検討をしていただきたい。
議事については以上で終了する。
進行を事務局へ依頼。

大野事務局長 他に何かないか。

岡部議長 中学校への空調設置、南中小のグラウンド改修について説明願いたい。

大野事務局長 中学校への空調設置工事は粛々と工事は進めている。6月末までには設置できる。南中小のグラウンド改修は、国の補助金は不採択となったが過疎債と一般財源で対応し、予定通り今年度実施する。

岡部議長 南上小の校舎外壁の塗装も補助金採択は難しそうだが、進めて行きたい。

大野事務局長 次回の総合教育会議は11月か12月に予算編成の関係で開催する予定。

大野事務局長 閉会宣言

10:25 閉会

記事録署名人 岡部克仁

記事録署名人 波野 薫

記事録署名人 大野孝行